

- 日米安保条約の廃棄、米軍基地撤去
- 自衛隊の海外派兵反対
- 独立・平和・非同盟の日本を

安保廃棄

第531号 2025年8月

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-11-13 MMビル2F
☎ 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765
Eメール anpohaiki@nifty.com
http://anpohaiki.news.coccan.jp/index.html
毎月1回1日発行/定価100円 年間購読料1800円(送料含む)
郵便振替 00120-3-253220

参院選・沖縄選挙区

オール沖縄 **高良沙哉さん** 勝利



選挙中、県民に訴えるタカラさちかさん

7月20日投開票の参院選挙は、自民党と公明党が大幅に議席を減らし、衆議院での自公の議席が半数を割った。参議院でも同様の事態となることが決まりました。

開票日20時15分頃、さつそく1つの民放がタカラさちか当選を現していました。これに続き、他の民放や地元紙などが当選を出したことを受け、21時半ころ、タカラ選対本部も当選と判断し、開票を見守る会場では拍手が沸き起こりました。タカラ候補も手をたたきながら、その手で顔を覆いました。万歳三唱では、泣き顔でガッツポーズをとり、喜びをかみしめました。

憲法理念生かす 政治実現を訴え

物価高騰に苦しむ県民に実態を明らかにし、消費税減税やガソリン税暫定税率廃止給付型奨学金制度の拡充などを訴えました。また、排外主義を糾弾し、ジェンダー平等と多様な性尊重、選択的夫婦別姓や同性婚制度の実現を訴えてきました。

県政与党とデニー知事が全力で

は、日本共産党の志位和夫議長と立憲民主党の野田佳彦代表、社民党の福島瑞穂党首という国政野党の党首クラスが、タカラさんやデニー知事とタカラさん候補がそろい踏みで街頭から訴えました。

志位議長は「政治を変える希望はどこにあるのか」と問いかけて、「市民と野党が、立場の違いを超えて連携、協力、共闘することこそ希望があると強調。野田代表は、繰り返し、自民党議員の問答発言を許せないと言いつつ、こんな自民党の候補に負けてはいけません。オール沖縄の力を

アメリカ言いなり「政治と今日の『日米同盟』」

小泉親司
安保破棄中央実行委員会常任幹事

④2 参政党が狙う「スパイ防止法」とは

参議院選挙が終わり、自公連立政権が、衆院に続いて少数与党に転落したことが明らかになりました。参議院選挙では、戦争をめぐる問題、軍拡問題など平和をめぐる問題が後景に甘んじた感がありますが、突出して重大な問題となつたのは、「スパイ防止法」の制定をかける参政党の躍進でした。これは、アメリカの要求による日本の「戦争国家づくり」が急速にすすむなか、看過できない重大問題です。

過去に廃案になつたものの焼き直し

この「スパイ防止法」はすでに1985年、自民党が「国家機密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案」として国会に提出したもので、国民の大きな反対で廃案となっていました。反対運動の先頭に立った日本弁護士連合会は、「憲法が保障する言論・表現の自由をはじめとする国民の基本的人権を侵害し、国民主権主義の存立基盤を崩壊させかねない極めて危険な内容」ときびしく非難しています。参政党の主張は、これらの法案を焼き直して提出しようとするものです。神谷代表が「公務員を対象に極端な思想の人を洗い出すための法」とのべたように、国民の思想・信条の自由を侵害する点でもない法案です。

米国軍事情報守るため人権侵害

また、神谷代表は、「日本だけでなかなか単独では守れませんが、同盟を結んだ時や情報提供する時に日本に情報提供を流すに漏れてしまつた」のはダメだとし、スパイ防止法の制定の必要性を強調しています。つまり、アメリカの軍事情報を他国へ漏れないようにするためだとし、日米同盟強化から必要だということをあけすけに語っているのです。日本では日米安保条約のもとで日本国民の知る権利を侵害する「刑事特別法」や「MISA秘密協定」、「秘密保護法」(2013年)「共謀罪法」(16年)など人権侵害の違憲立法が施行されてきました。このような憲法9条や人権条項をつぶし、アメリカ言いなり

参院選では「望ましくない違法外国人などを排除」との政策を掲げた参政党が議席を増やした。自民や国民民主も外国人問題で政策を出した。これらの政策が問題にしない「外国人」がいる。昨年9月に横須賀市内で米兵が22歳の青年を死亡させた交通事故を起こした。事件の被告は2023年に米艦「ブルーリッジ」の乗組員として日本に入国しているが、日本国内の運転について米軍の座学による講習のみで実技試験は受けていない。米兵は日本の公道を走る際にも米軍発行の「操縦許可証」があればよく、国際運転免許証は必要ない。横浜地裁横須賀支部の公判で、被告は事故後も「操縦許可証」を取り消されることもなく運転していたことも明らかにしている。神奈川県議会でも共産党議員が、道交法に位置づけて日本の警察が処分できるよう訴えたが、県警本部長は「米軍がしるべき措置をとってあるものと承知している」と述べている。根拠のない「外国人優遇」批判ではなく、差し迫った事件の根拠こそ課題にすべきだ。



当選証書を手にした高良さちかさん

が、沖縄でも躍進したことは驚きでしたが、この現実にはいかに対応し、「命どう宝」・平和の思いをいかに次世代に繋げていくのか、新たな課題が見つかったと考えています。

大浦湾の地盤改良工事とは止まったままで、来年の名護市長選、そして県知事選で勝利し、新基地建設中止を実現させましょう。

今度の参院選で沖縄では、建白書実現をめざすオール沖縄のタカラさちか氏が見事に勝利し、平和の1議席を守り抜きました。これで参院選と知事選を合わせて、県全体で一

めの選挙をしてくるのではないかと警戒していましたが、いざ国政選挙となると「政権隠し」の戦術なのか、事前ヒラには候補者の写真とイメージ写真だけで、総理や閣僚だけで、先の話より今の生活・くらしの問題が大きな争点となった今度の選挙では県民にほとんど響くことはありませんでした。

西田発言に便乗した神谷氏率いる参政党

沖縄 たたかいの現場から

瀬長 和男
沖縄県統一連事務局長

118

タカラさんが「平和の議席」守る 名護市長選・知事選勝利へ前進を

人を選ぶ選挙でオール
沖縄が8連勝となりま
した。

これだけ長く連勝を重ねられたのは、やはり建白書にこめられた県民の思いが根底にあると考えていますが、

今回は特に戦後80年の節目の年であったこと、沖縄の歴史やひめゆり部隊を冒瀝した自民党西田氏の発言への怒り、そして何よりも自公政権の悪政で暮らして困窮していることに対する怒りの審判が、タカラ氏勝利の大きな要因であったと考えています。

なく県選出自民党国会議員の写真すらないビラを配布し、元警察官や社会福祉士といった候補者のプロフィールを前面に出し、政党色を一切排除する内容でした。

また、基地問題では辺野古には一切触れず、先島の自衛隊ミサイル、住民避難計画など、自公政権が進める「戦争準備」にも全く触れず、那覇軍港や牧

港補給基地、普天間基地返還後の跡地利用計画「ゲートウェイ2050」を前面に押し出し、経済発展で県民所

安保中央・東京の宣伝・署名行動

金権・軍拡政治終わらせよう

安保破棄中央実行委員会と東京実行委員会は7月23日、東京・新

動をおこないました。各弁士がハンドマイクで訴え、大軍拡反対署名と辺野古新基地反対署名にとりくみました。

権ノー」の国民の審判をふまえ、「金権腐敗と国民犠牲、大軍拡政治を終わらせよう」と訴えました。そして、沖縄選挙区での「オール沖縄」・高良沙哉と

古新基地工事を中止させようと呼びかけました。

全労連・高木りつ副議長、安保東京・岸本

防衛省「はじめての防衛白書」
各県の小学校へ送付
全教が防衛省・文科省に中止要請

正人事務局長、自治労連・吉田佳弘書記次長、食品一般ユニオンの北川順子さんが訴えました。各弁士は、外国人差別を許さないこと、「戦争する国づくり」を許さず、憲法をふまえた政治の実現などを訴えました。

の防衛白書2024
「の冊子が各校1冊
とアンケート用紙が防
衛省から直送されて
いたことが分かりまし
た。この白書は長崎
岩手、青森、山形の各
県内の小学校にも配付
されていることが分か
り、全教では防衛省と

5月19日に福島県教育委員会教育長名で各市町村教育委員会教育長あて、防衛省「まる

文科省に白書の送付中
止・回収などの要請を
おこない、各組織に緊
急に調査と各教育委員
会に申し入れのとりく

佐賀 オスプレイ配備反対 駐屯地開設に抗議

7月9日、地域住民の強い反対を押し切つて「陸上自衛隊佐賀駐屯地」が開設されました。佐賀空港に隣接し、空港滑走路も共用する基地で、17機のV-22オスプレイが配備され、その運用・整備にかかわる420人の隊員が任務に就く陸上自衛隊の九州最大の基地です。

この日、駐屯地前に約100人の市民が駆け付け、自衛隊駐屯地開設反対、オスプレイ配備反対の抗議の声をあげました。また、「オスプレイ裁判支援市民の会」は、同駐屯地に対し、抗議の申し入れをおこないました。裁判をたたかう原告の古賀初次さんが申し入れ書を駐屯地正門前で読

み上げ、自衛隊担当署に手渡ししました（写真Ⅱしんぶん赤旗提供）。申し入れ書では同駐屯地の使用停止とオスプレイ配備の中止などを求めています。

また、「市民の会」は山口祥義佐賀県知事に対しても「駐屯地の使用停止を防衛省に求めること」などの要請をおこないました。

ストップ!

「戦争する国」つくり

チェンジ!

平和外交への道へ

戦後・植民地
80年

くそう! 日米軍事同盟・米軍基地」。

◇25日13時〜15時 開

会集会 (名古屋市民会

館) (オンライン配信

秩序を(仮題)」



102年日本平成大大会(平和国際年)「ソフット

大会にむけた学習パンフ

10月25～26日
2025年 **日本平和大会**
愛知県で開催

内容に至る所で不適切であり教育的ではない」ということで回収を要求しました。

全教では7月11日に防衛省、24日に文科省に要請をおこないました。防衛省に送付中止・回収を要請したところ、白書を作成・配付した意図を示すだけの回答でした。教育課程編成への政治的介入ともとれる今回のこの行為

について再発防止策を求めたところ、「文科省に確認をとったが配付に関しては各自治体の判断である」という回答をするなど、終始的を射ない内容でした。

秋には2025年度版の子ども向け防衛白書が出される見込みです。全教として同じことが起きないように注視していく所存です。

（全教・赤枝康広）

ストップ!
「戦争する国」つくり
チェンジ!
平和外交への道へ

戦後・被爆
80年



2015年日本平和大会・平和学習ツアー（ソフット）

大会にむけた学習パンフ

2025年日本平和大会が10月25、26日に愛知県を会場に開かれます。スローガンは「なくそう! 日米軍事同盟・米軍基地」。

◇25日13時〜15時 開会集会（名古屋市民会館）（オンライン配信）

◇13時30分〜15時 開会集会・パレード（名古屋市中・若宮広場）

■10月4日（土）14時〜17時 国際シンポジウム（オンライン企画）

「いまこそ軍事同盟NO! 核兵器のない国連憲章に基づく平和秩序を（仮題）」

あり)
◇25日16時～18時 学
びと交流のつどい
愛知から見る平和の今
（名古屋市内各会場）
◇19時～20時30分 青
年のつどい「ピースシ
ヤウト」（労働会館東
館）
◇26日9時15分～12時
分科会（名古屋市内各
会場）

万博でブルーインパルス展示飛行 防衛省に中止を申し入れ 近畿の安保実行委など10団体



近畿防衛局の担当者(左)に申し入れる代表

7月2日、近畿2府4県の安保破棄実行委員会と「ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会」、大阪平和委員会、大阪原水

7月2日、近畿2府4県の安保破棄実行委員会と「ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会」、大阪平和委員会、大阪原水

近畿防衛局の担当者(左)に申し入れる代表

申し入れをおこないました。申し入れでは、「重大な事故を繰り返す、多くのいのちを失わせて

防衛省は、事故原因などの究明・説明を十分におこなわないまま訓練を再開しています。(大阪安保破棄ニュース7月15日号から)

冒頭、横山支部事務局長から、「横須賀市で私たちの仲間の組合員の息子さんが2歳の

「お互いに脅威とならない」という2008年の日中共同宣言にも反し、日本を戦争の道に巻き込むものだと言面から批判しました。特に、厚木基地がイランの核施設攻撃にも大きな役割を果たした空中給油機の作戦拠点にされることについては、相手国の第一攻撃対象にもなると指摘し



東北防衛局の基地対策室長に要請書を提出する安保宮城代表委員、高橋正行県労連議長(左)

7月15日、この訓練に対して米軍移転・日米共同演習反対県連絡会(II連絡会)は、東アジアの軍事緊張を一層高め、「互いに脅威とならない」とした日中関係に悪影響を与える

7月15日、この訓練に対して米軍移転・日米共同演習反対県連絡会(II連絡会)は、東アジアの軍事緊張を一層高め、「互いに脅威とならない」とした日中関係に悪影響を与える

7月15日、この訓練に対して米軍移転・日米共同演習反対県連絡会(II連絡会)は、東アジアの軍事緊張を一層高め、「互いに脅威とならない」とした日中関係に悪影響を与える

7月15日、この訓練に対して米軍移転・日米共同演習反対県連絡会(II連絡会)は、東アジアの軍事緊張を一層高め、「互いに脅威とならない」とした日中関係に悪影響を与える

7月15日、この訓練に対して米軍移転・日米共同演習反対県連絡会(II連絡会)は、東アジアの軍事緊張を一層高め、「互いに脅威とならない」とした日中関係に悪影響を与える

航空幕僚監部は6月 空自衛隊(II空自)の30日、米軍主催の訓練 基地も使い、7月9日「レゾリュート・フォース・パシフィック」の訓練は、空自と他国軍など参加する大掛かりな米軍主催の共同訓練です。

7月22日から30日まで、松島及び百里、小松の3基地を使用した「米軍戦闘機展開訓練」を実施するために、松島基地には米軍戦闘機F35Aが8機、三沢基地で、F35Bが4機、岩国から飛来すると

7月22日から30日まで、松島及び百里、小松の3基地を使用した「米軍戦闘機展開訓練」を実施するために、松島基地には米軍戦闘機F35Aが8機、三沢基地で、F35Bが4機、岩国から飛来すると

7月22日から30日まで、松島及び百里、小松の3基地を使用した「米軍戦闘機展開訓練」を実施するために、松島基地には米軍戦闘機F35Aが8機、三沢基地で、F35Bが4機、岩国から飛来すると

7月22日から30日まで、松島及び百里、小松の3基地を使用した「米軍戦闘機展開訓練」を実施するために、松島基地には米軍戦闘機F35Aが8機、三沢基地で、F35Bが4機、岩国から飛来すると

安保宮城 米軍主催訓練やめさせよ 防衛省に要請し、監視活動

から東北防衛局に、その中止を日米両政府に進言するよう要請しました。

また、日本の領域や周辺で実施する今回のような訓練を常態化する

また、日本の領域や周辺で実施する今回のような訓練を常態化する

また、日本の領域や周辺で実施する今回のような訓練を常態化する

安保神奈川 多国間大規模演習に抗議 米軍厚木基地に中止申し入れ



米軍将校(左端)に申し入れる人々

安保神奈川統一促進会議は7月8日、米空軍主催の多国間大規模演習「レゾリュート・フォース・パシフィック」(7月9日〜8月4日)について米軍厚木基地に抗議の申し入れをおこないました。

安保神奈川統一促進会議は7月8日、米空軍主催の多国間大規模演習「レゾリュート・フォース・パシフィック」(7月9日〜8月4日)について米軍厚木基地に抗議の申し入れをおこないました。

基地情報

統合作戦指令部 赤坂設置は？

7月22日の防衛大臣会見で、中谷大臣は、次のように答弁しました。

「赤坂プレス・センタリー」についてのお問合わせであります。これは東京都、港区及び港区議会から、累次にわたって基地の整理縮小や返還などの要請をいただいているところでございます。この赤坂プレス・センタリーは、米軍にとりまして、まず都心へのヘリコプターによる要人等の迅速な輸送を可能とするほか、都心における広報拠点などの役割を果たしている施設であるというところから、現時点において、返還は困難であるということを累次説明をいたしております。また、指摘のサテライト・オフィスは、在日米軍の統合軍司令部へのアップグレードの一環として、自衛隊の統合作戦司令部

「赤坂プレス・センタリー」についてのお問合わせであります。これは東京都、港区及び港区議会から、累次にわたって基地の整理縮小や返還などの要請をいただいているところでございます。この赤坂プレス・センタリーは、米軍にとりまして、まず都心へのヘリコプターによる要人等の迅速な輸送を可能とするほか、都心における広報拠点などの役割を果たしている施設であるというところから、現時点において、返還は困難であるということを累次説明をいたしております。また、指摘のサテライト・オフィスは、在日米軍の統合軍司令部へのアップグレードの一環として、自衛隊の統合作戦司令部

「赤坂プレス・センタリー」についてのお問合わせであります。これは東京都、港区及び港区議会から、累次にわたって基地の整理縮小や返還などの要請をいただいているところでございます。この赤坂プレス・センタリーは、米軍にとりまして、まず都心へのヘリコプターによる要人等の迅速な輸送を可能とするほか、都心における広報拠点などの役割を果たしている施設であるというところから、現時点において、返還は困難であるということを累次説明をいたしております。また、指摘のサテライト・オフィスは、在日米軍の統合軍司令部へのアップグレードの一環として、自衛隊の統合作戦司令部

「赤坂プレス・センタリー」についてのお問合わせであります。これは東京都、港区及び港区議会から、累次にわたって基地の整理縮小や返還などの要請をいただいているところでございます。この赤坂プレス・センタリーは、米軍にとりまして、まず都心へのヘリコプターによる要人等の迅速な輸送を可能とするほか、都心における広報拠点などの役割を果たしている施設であるというところから、現時点において、返還は困難であるということを累次説明をいたしております。また、指摘のサテライト・オフィスは、在日米軍の統合軍司令部へのアップグレードの一環として、自衛隊の統合作戦司令部

「赤坂プレス・センタリー」についてのお問合わせであります。これは東京都、港区及び港区議会から、累次にわたって基地の整理縮小や返還などの要請をいただいているところでございます。この赤坂プレス・センタリーは、米軍にとりまして、まず都心へのヘリコプターによる要人等の迅速な輸送を可能とするほか、都心における広報拠点などの役割を果たしている施設であるというところから、現時点において、返還は困難であるということを累次説明をいたしております。また、指摘のサテライト・オフィスは、在日米軍の統合軍司令部へのアップグレードの一環として、自衛隊の統合作戦司令部

「赤坂プレス・センタリー」についてのお問合わせであります。これは東京都、港区及び港区議会から、累次にわたって基地の整理縮小や返還などの要請をいただいているところでございます。この赤坂プレス・センタリーは、米軍にとりまして、まず都心へのヘリコプターによる要人等の迅速な輸送を可能とするほか、都心における広報拠点などの役割を果たしている施設であるというところから、現時点において、返還は困難であるということを累次説明をいたしております。また、指摘のサテライト・オフィスは、在日米軍の統合軍司令部へのアップグレードの一環として、自衛隊の統合作戦司令部

